

BPW中部ブロック研究会2020, 2.29

GGGI 2019 政治分野144位

ランクはワースト10!!

山崎摩耶

元衆議院議員

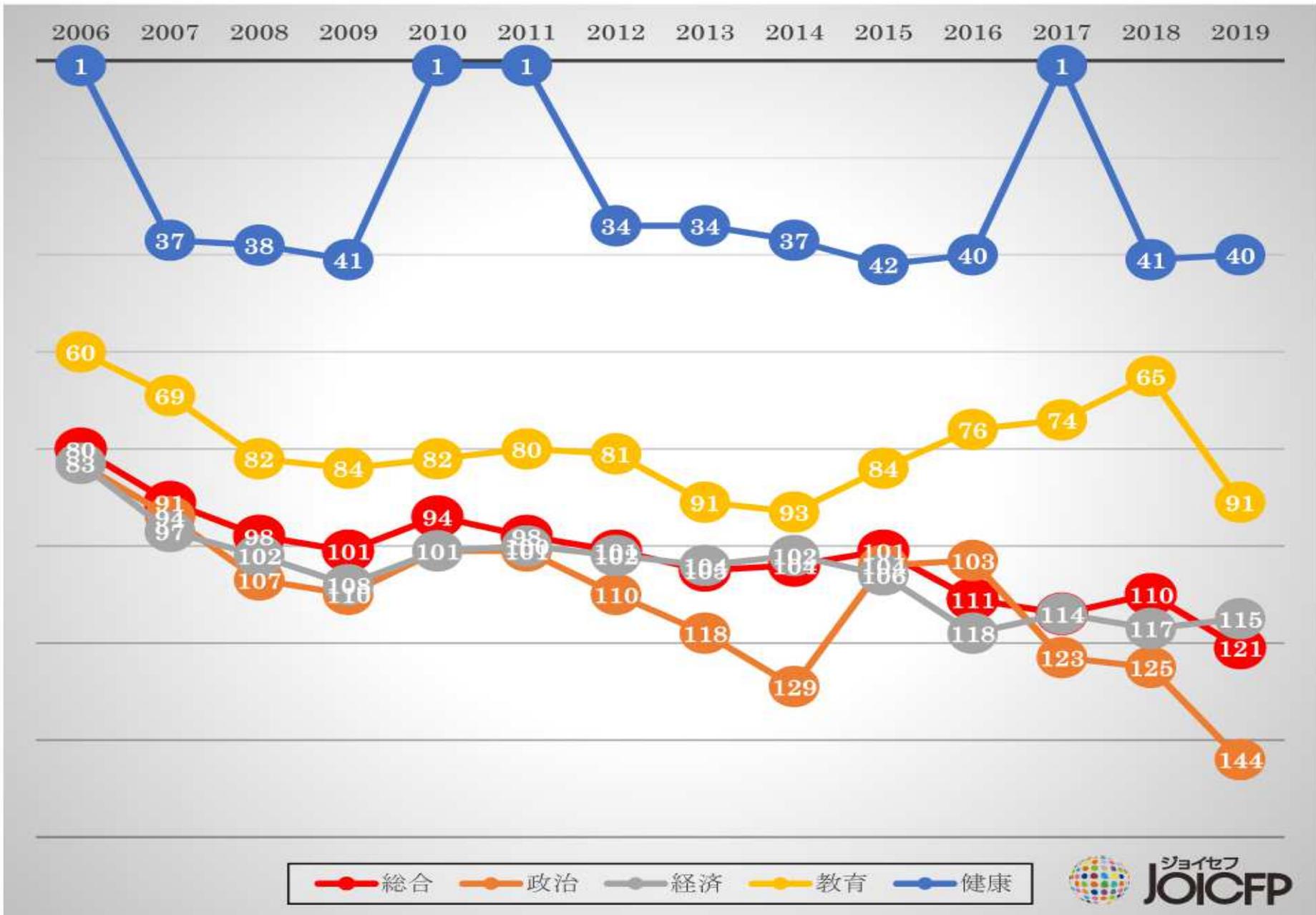
Qの会役員・BPW東京会員



本日の発言要旨

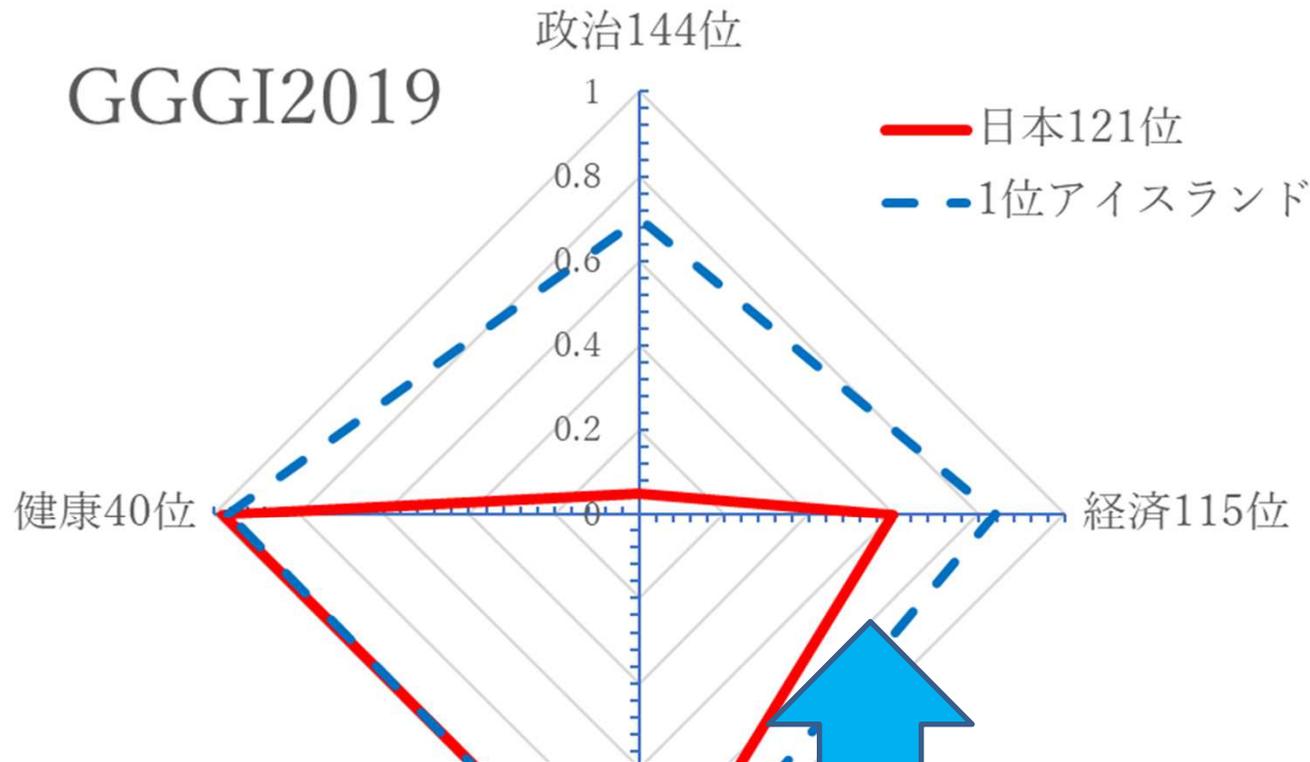
- 1) GGGI 2019・政治分野は144位
- 2) 各国の推移と女性議員を増やす取り組み
- 3) 「政治分野における男女共同参画推進法」
成立とQの会の努力
- 4) 私たちの取り組み課題と展望

日本のGGGI (The Global Gender Gap Index) 推移のグラフ 2006年～2019年



GGGI 2019

153か国中121位(過去最低)

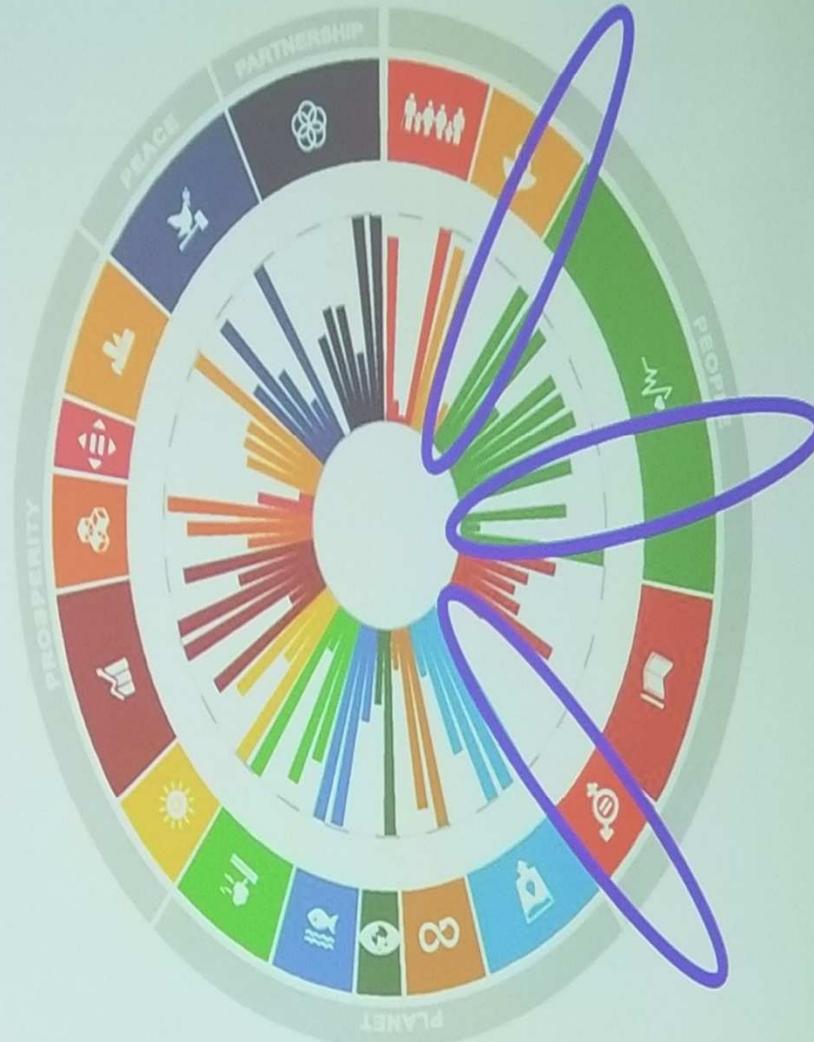


日本の男女平等は、今のペースなら163年かかる!

SDGsターゲットごとの達成までの距離：日本

Goals

-  1: Eradicate poverty
-  2: Food
-  3: Health
-  4: Education
-  5: Gender equality
-  6: Water
-  7: Energy
-  8: Economy
-  9: Infrastructure
-  10: Reduce inequality
-  11: Cities
-  12: Sustainable production
-  13: Climate
-  14: Oceans
-  15: Biodiversity
-  16: Institutions
-  17: Implementation



--- Levels of achievement to be attained by 2030

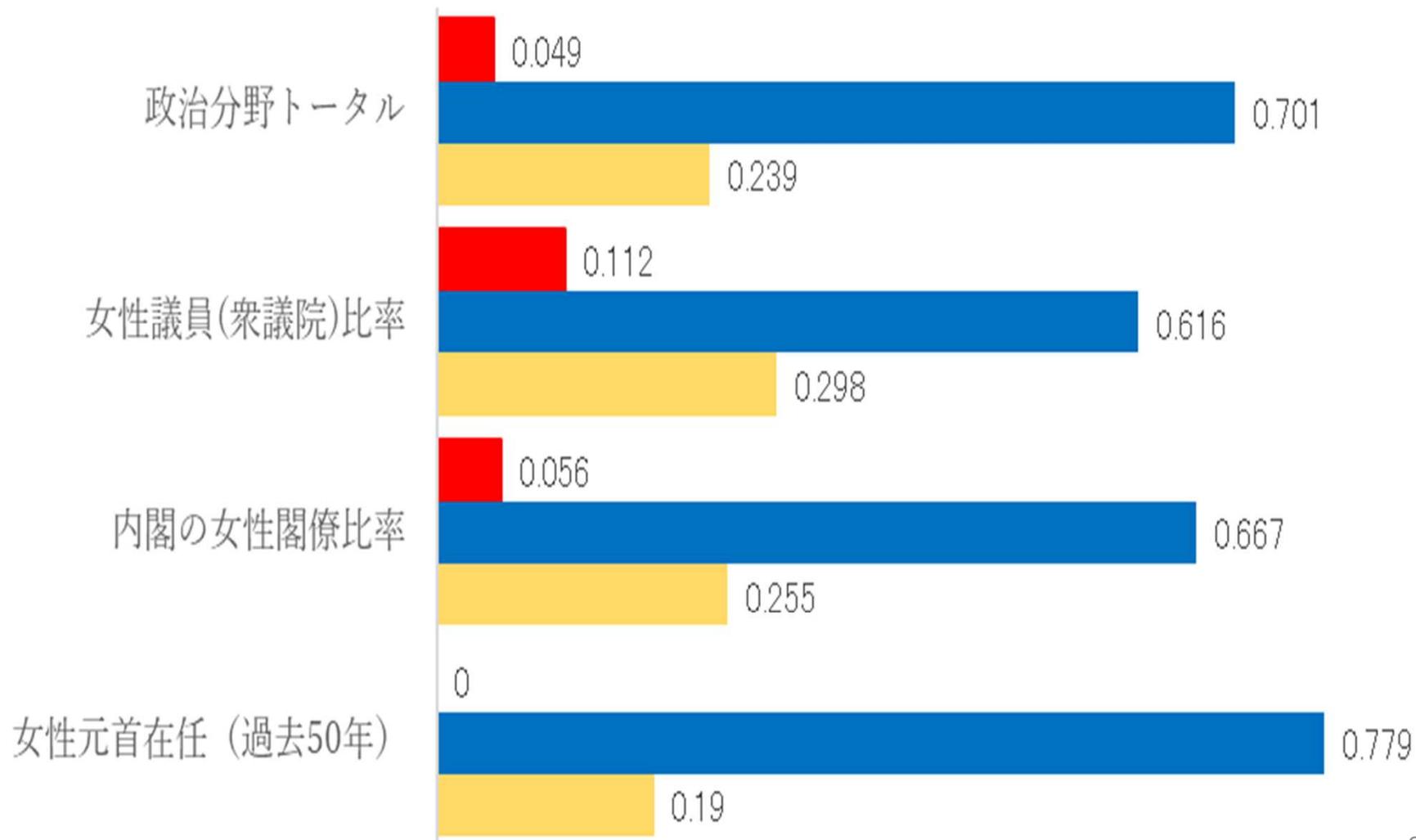
引用：OECD (2019) Measuring Distance to the SDG Targets 2019

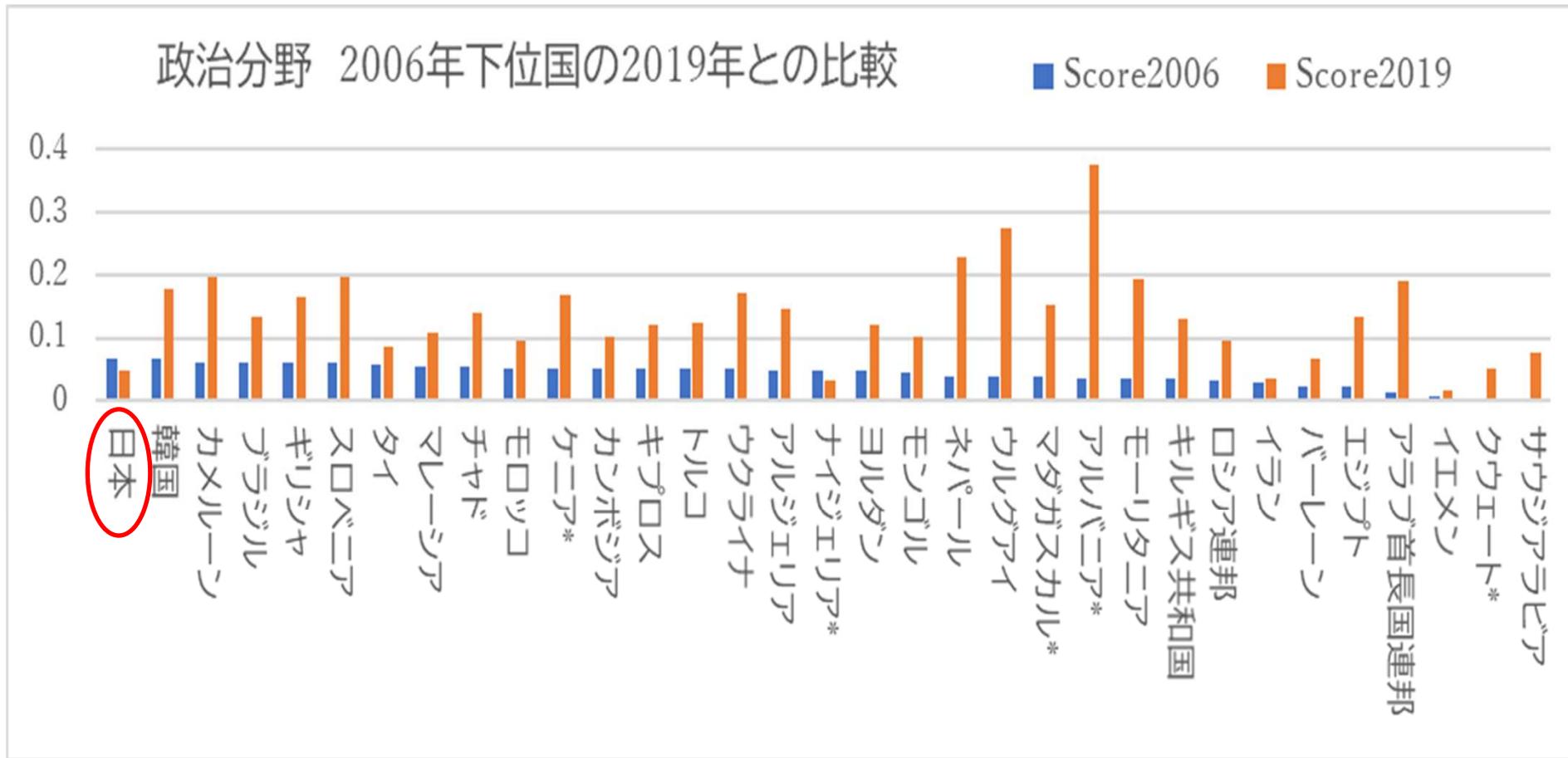
政治分野指標比較

■ 日本144位

■ アイスランド1位

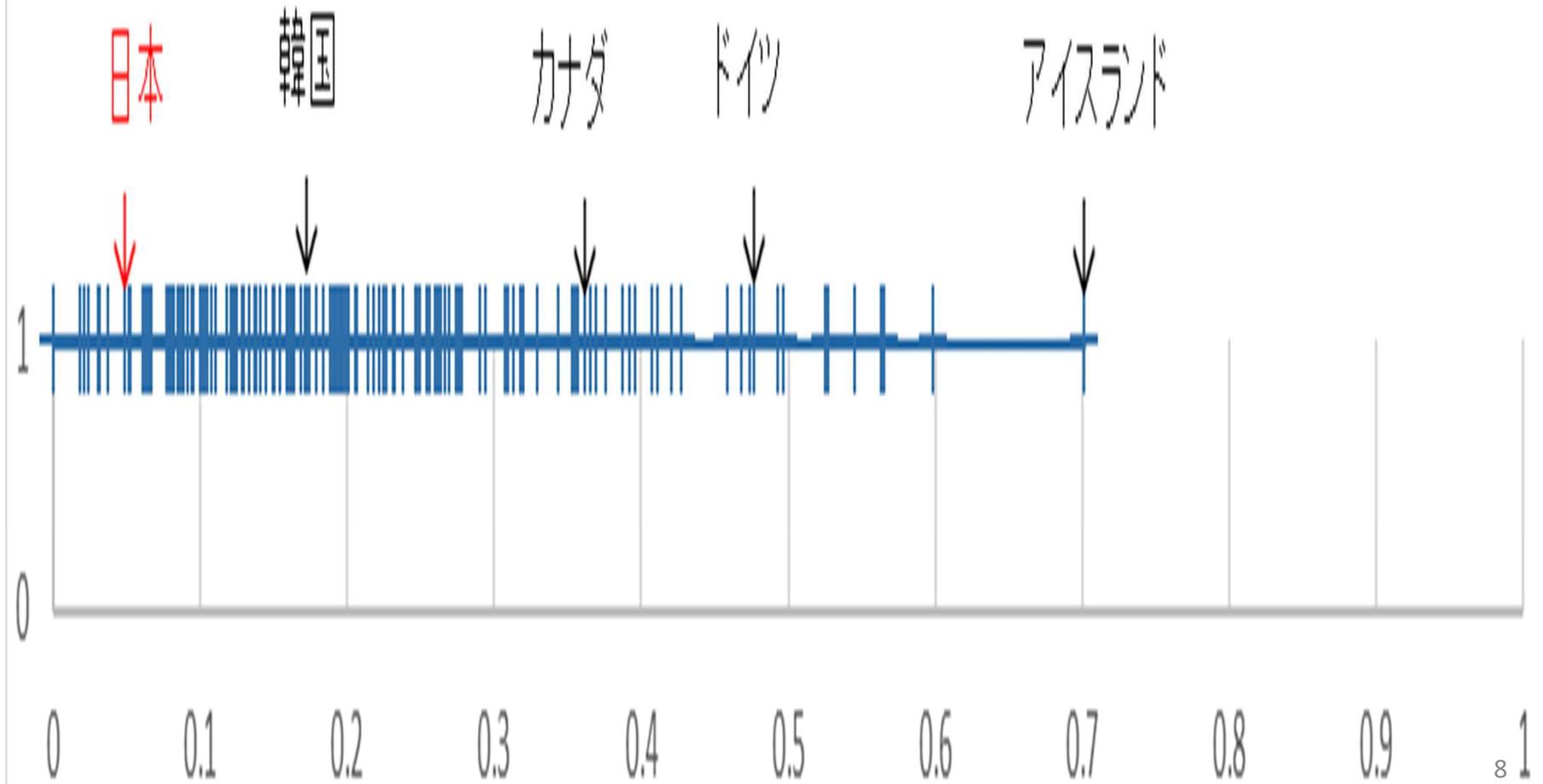
■ 世界av





政治分野において、2006年日本は83位、この年日本より下位だった32か国中29か国はスコアを伸ばした。日本は2019年スコアを下げワースト10に

政治分野スコア散布図



IPU・193か国の 女性議員割合 (2019. 3. 7)

女性議員の割合
日本は165位

Rank	Country	Lower or single House				Upper House or Senate			
		Elections	Seats*	Women	% W	Elections	Seats*	Women	% W
1	Rwanda	03.09.2018	80	49	61.3%	26.09.2011	26	10	38.5%
2	Cuba	11.03.2018	605	322	53.2%	---	---	---	---
3	Bolivia	12.10.2014	130	69	53.1%	12.10.2014	36	17	47.2%
4	Mexico	---	---	---	---	---	---	---	---
5	Sweden	---	---	---	---	---	---	---	---
6	Grenada	---	---	---	---	---	---	---	---
7	Namibia	---	---	---	---	---	---	---	---
8	Costa Rica	---	---	---	---	---	---	---	---
9	Nicaragua	---	---	---	---	---	---	---	---
10	South Africa	---	---	---	---	---	---	---	---
11	Senegal	---	---	---	---	---	---	---	---
12	Finland	---	---	---	---	---	---	---	---

IPU・列国議会同盟
国政レベルの議会での
女性の割合 調査

61	Kazakhstan	06.11.2018	434	102	23.5%	06.11.2018	100	25	25.0%
62	Dominican Rep.	03.06.2017	120	28	23.3%	11.07.2017	32	7	21.9%
63	Vietnam	11.09.2015	100	23	23.0%	---	---	---	---
64	Djibouti	---	---	---	---	---	---	---	---
65	Algeria	---	---	---	---	---	---	---	---
66	Bulgaria	---	---	---	---	---	---	---	---
68	Iraq	---	---	---	---	---	---	---	---
69	Dominica	---	---	---	---	---	---	---	---
70	Luxembourg	---	---	---	---	---	---	---	---
71	San Marino	---	---	---	---	---	---	---	---
72	Turkmenistan	---	---	---	---	---	---	---	---
73	China	---	---	---	---	---	---	---	---
74	Slovenia	---	---	---	---	---	---	---	---
75	Somalia	---	---	---	---	---	---	---	---
76	Armenia	---	---	---	---	---	---	---	---
77	Cabo Verde	---	---	---	---	---	---	---	---
78	Montenegro	---	---	---	---	---	---	---	---
79	United States	---	---	---	---	---	---	---	---
80	Lesotho	---	---	---	---	---	---	---	---
81	Singapore	---	---	---	---	---	---	---	---
82	Guinea	---	---	---	---	---	---	---	---
83	Chile	---	---	---	---	---	---	---	---
84	Czech Repub.	---	---	---	---	---	---	---	---
85	United Arab Em.	---	---	---	---	---	---	---	---
87	Ireland	26.02.2016	158	35	22.2%	25.04.2016	60	18	30.0%

46位

ルワンダ 61.3% 1位
フランス 39.7% 16位
アメリカ 23.5% 78位

世界全体

1995年 11.3% → 2019年 24.3% 倍増

各国の最近の状況

- ・ フィンランド: 3人目の女性首相サンナ・マリア氏
国会議員は46%、
閣僚19人中12人が女性(63%)
主要5党党首が女性

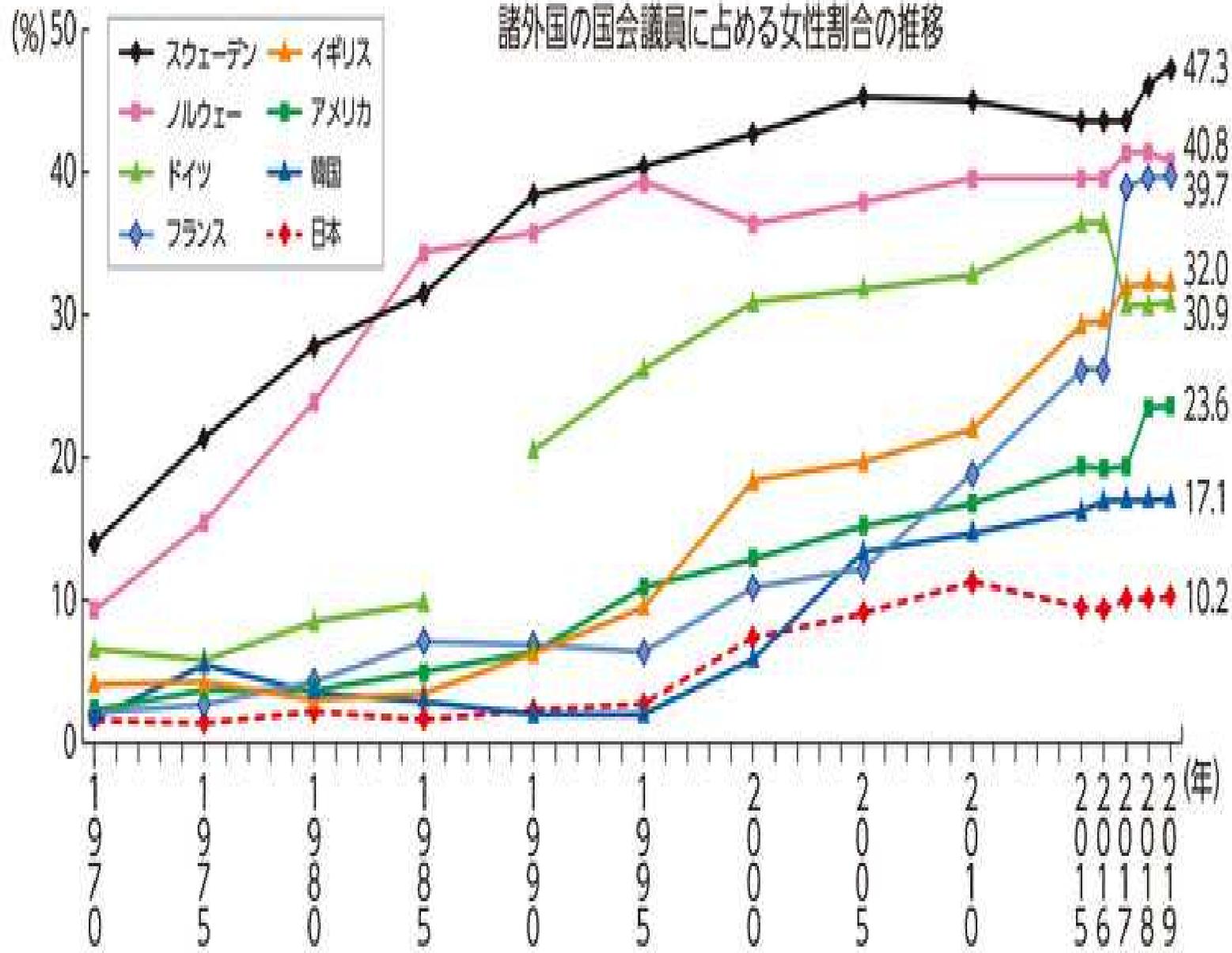
(1906年世界最初の男女に参政権、被参政権を付与した国、幸福度No1・男女平等・教育トップクラスの全世代型社会保障・高福祉国家)

- ・ スペイン: 閣僚22人中11人が女性(50%)
副首相4枠のうち3人女性
- ・ フランス: 閣僚34人、男女半数の17人ずつ

主要国の女性議員数割合

スウェーデン	47%	イギリス	30, 2%
フィンランド	46%	米国	23,7%
ベルギー・スペイン	41.9%	台湾	38%
ニュージーランド アイスランド	40,8% 38%	中国	24,9%
フランス	37,2%	シンガポール	24,0%
イタリア	35,4%	北朝鮮	17,6%
カナダ	33,4%	韓国	17,3%
ドイツ	31.6%	日本	14,4%

諸外国の国会議員に占める女性割合の推移



(備考)
 1. 列国議会同盟資料より作成。調査対象国は2019年2月現在193カ国。
 2. 一院制又は下院における女性議員割合。

(人) 米国の女性連邦議会議員数の推移 上下両院の合計

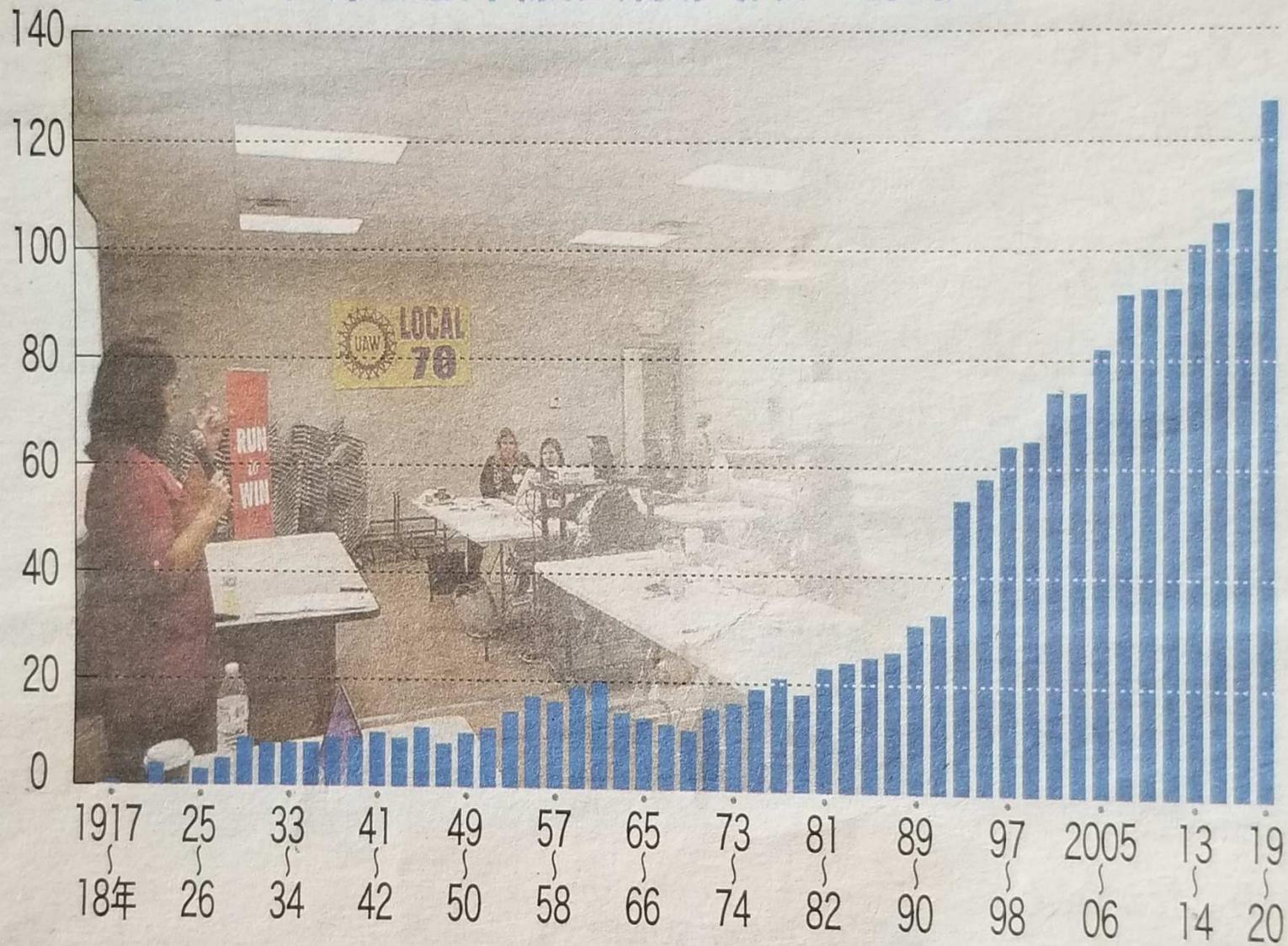


図 1. 台湾・韓国・日本の女性国会議員比率の推移

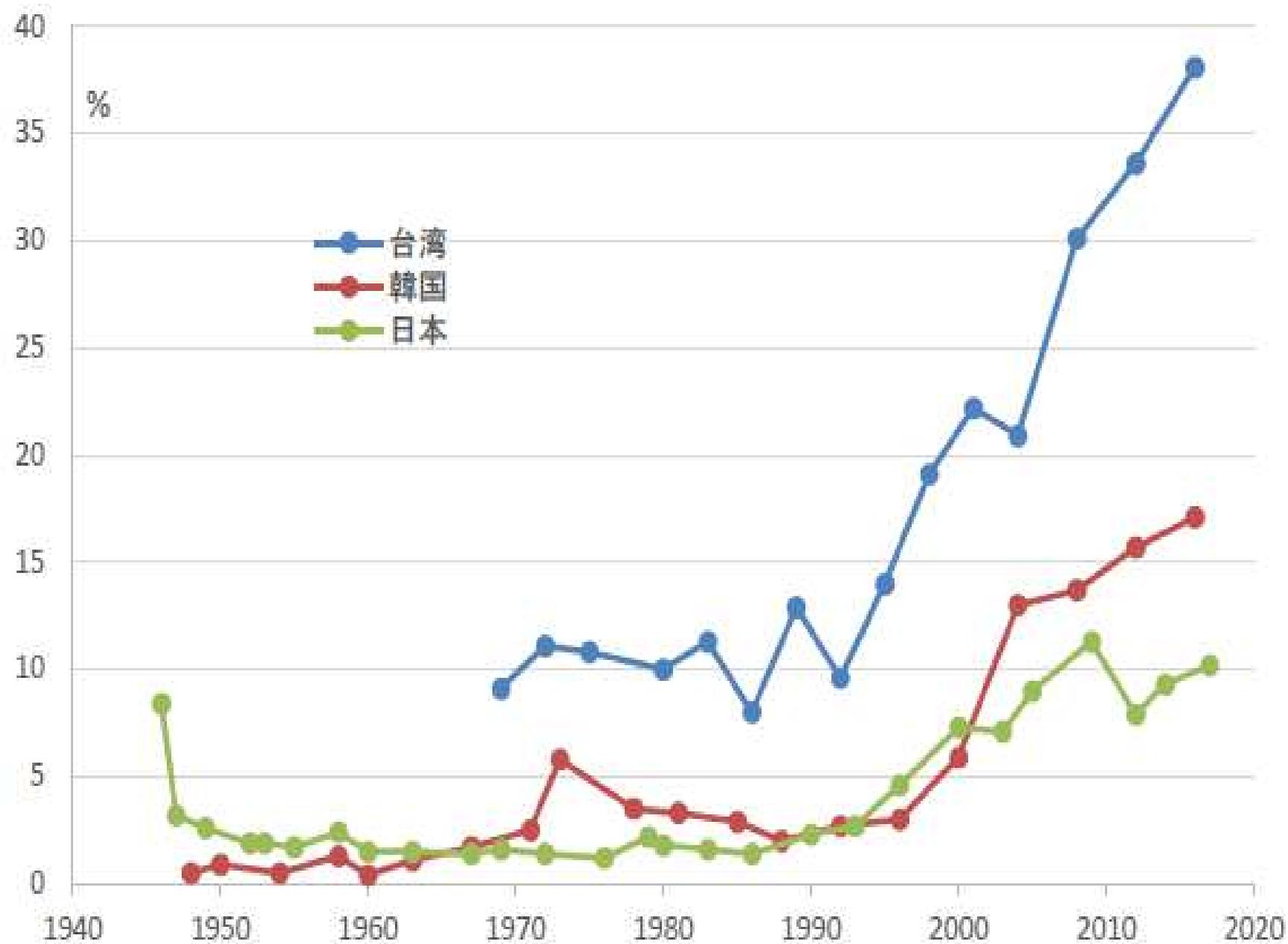


表 1. 台湾の各議会における女性議員の割合（平均値）と最高値

議会（選挙年）		女性議員の割合	うち最高値
国会（2012）	立法院	33.60%	33.60%
地方議会（2014）	六大都市	35.47%	40.35%
	県・市	27.26%	39.47%
	郷鎮市	22.48%	35.56%
	村・里	13.95%	22.86%

資料：本報告書

〈台湾〉

議席割り当てと候補者クオータで38%(2019)

- 2005年憲法改正:ジェンダー・クオータ導入
 - ・ 比例代表の50%は女性に
- 地方議会:4分の1クオータ制
- 政府の委員会:性別中立クオータ:男女問わず議席の少ない性に適応

[アジアでは1位・独自のGGGIは世界1位と政府]

〈韓国 の例〉 GGGI 108位

- 2000年政党法改正：**クオータ制導入**
 - 比例代表の50%を女性を公認する。
 - 名簿の奇数に女性候補を。
 - 選挙区は女性候補者を30%以上とする(努力規定)
- 2005年選挙法に移管
- **女性公認補助金**：小選挙区で女性候補を多く擁立した政党に対して、女性候補の選挙経費を支給
- **女性政治発展費**：政党への経常補助金の10%

フランス：1999年に憲法改正、パリテ導入 2015年地方議会=男女ペア立候補方式でパリテを実現



「政治分野における男女共同参画 推進法」制定とこれからの課題

Qの会発足と超党派議連による 議員立法・国会審議と成立まで

- 【2012年：クオータ制を推進する会発足：赤松良子代表】
- 2015年：超党派議員連盟結成
 - 2016年5月：通常国会に法案提出を図るも議連内で
文言一致せず【男女同数か均衡か均等か?】
 - ・野党4党案提出で国会閉会
 - 2016年12月：臨時国会に与党案提出
 - 2017年2月：通常国会で両案の1本化(「均等」は「同数」と同意語と読む)、議員立法だが、全会一致の委員長提案で可決したいと努力
 - 2017年9月：国会解散で廃案に
 - 2018年5月16日：第196回通常国会で成立!!
 - 2018年5月23日 公布・施行日

2017・4・10

女性参政権行使71年の記念日をパープルに染めた院内集会
(法案成立へ各政党要請も)



2018・1・17野田聖子大臣を表敬
推進法案成立へ要請



2017・9・29緊急院内集会 【廃案は許せない!】



2018年3月8日 国際女性デー院内集会

政治分野における男女共同参画推進法

2018, 5, 16参議院本会議・全会一致で可決・成立!!
「男女の候補者ができる限り同数となることを目指して」





2018年5月23日は
【候補者均等法/
日本版パリテ法】
施行記念日!



政治の「男女共同参画」進むか…「選挙イヤー」女性候補擁立本格化

[女性候補擁立]は争点の一つに！メディア報道も活発
=法成立の効



全国から選挙に挑戦する女性が集まり、議席獲得へ向け意気込
2議員会館で2019年1月29日、中川聡子撮影

今年は4月に統一地方選、夏に参院選が行われる「選
大を目指す市民団体「Qの会（クオータ制を推進する会
日、全国から女性の立候補予定者を国会に集め、決起
性候補の擁立状況を報告。政党に男女均等の候補擁立
画推進法」が昨年5月に成立しており、「議席の半分は

告示

統一地方選 19 41の道府県議 17の政令市議

立候補 計3,062人
女性 計 389人 過去最多 (12.7%)

自民	1,302人	共産	243人	社民	25人
立民	177人	維新	83人	諸派	46人
国民	113人	自由	1人	無	902人
公明	166人	希望	4人		

道府県議選

女性地方議員 14%

昨春統一選後 なお302議会「ゼロ」

全国の地方議会で総定数に占める女性議員の割合が、昨年春の統一地方選後の六月一日現在で14・0%になったことが十四日、市川房枝記念会女性と政治センター(東京)の調査で分かった。四年前の前回調査より1・9ポイント増えて一九七一年の調査開始以降、最高となったが、いまだ二割にも満たない。女性議員が一人もいない「ゼロ議会」は全国千七百八十八議会中三百二議会上った。

安倍政権は女性活躍推進を掲げ、二〇一八年には男女の候補者数を均等にすることを促す「政治分野の男女共同参画推進法」が成立した。その状況下で行われた初の統一地方選だったが、

女性に占める地方議会(上位5都府県)の割合

1	東京	29.0%
2	神奈川	21.8
3	大阪	21.0
4	埼玉	21.0
5	京都	18.9

市川房枝記念会女性と政治センター調べ。大阪、埼玉は小数点第2位以下で順位決定。2019年6月1日現在。

男女均等にはほど遠いのが実態だ。

調査は四年ごとの統一地方選後に実施。全国の女性地方議員の総数は四千六百八人で、総定数に占める割合は14・0%だった。前回調査では四千七十八人、12・1%。都道府県別に見ると、市区町村議会も含めた定数に占める女性の割合が最も高かったのは東京29・0%で、神奈川県21・8%、大阪と埼玉21・0%と続いた。最も低かったのは山梨

7・5%。

女性がいらないゼロ議会の三百二議会の内訳は市区で二十八、町村では二百七十四。この項目で調査を始めた九一年(65・8%)と比べると大幅に減少したが、なお16・9%を占める。

【203050】をめざして

～私たちのMission～

- ① 女性議員を増やそうという「政治意志」
- ② 政党へのアクション～女性比率目標・候補者選定の
透明化・党内に女性の声を反映
- ③ 議員(候補者)育成とトレーニング
～塾・プラットフォーム・送り出す・支える・つながる
- ④ 政治分野の働き方改革やハラスメント・暴力の撤廃
- ⑤ 選挙制度・公職選挙法等の改正
～政党助成金のあり方(女性比率で配分増減/用途制限)
～比例区のクォータor名簿記載方式など
～立候補を促進するしくみ(在職立候補や休暇制度・供託
金・選挙運動の見直しなど)

AIとSociety5.0・社会の変革に危機感を

- AI時代で危惧すること
- ビッグデータの反映で政策を打つ・制度を変える
- 全てのデータは現在の男女格差の現状を反映したもの
- 後ろ向きデータの分析による政策からは、社会は変化しないという危機感を持つ
- そして分析する技術者、ICT・AI分野の男女比は78%対22%の格差！

ご清聴ありがとうございました！





フィンランドを事例に

- 【歴史的】1906年に男女の選挙権と被選挙権を同時に認めた初の国
- 【社会的】父親も母親と等しく子育てに参加できる環境が整っている
- 【政治的】男女平等法が男女の社会・家庭生活の調和を保障
- 【文化的】厳しい自然環境や少ない人口の為女性の社会進出が促進された



男女平等社会を支える政策

- 希望する子どもは保育園全入(1973年法制)
- 母親の職場復帰を産後3年間保障する法律
- 男女雇用均等法
- 低年齢の子どもをもつ父親を対象にした政策
- 男女平等に対して開かれた社会





企業における女性の活躍と文化

- 労働力の44%は女性
- 上場企業の取締役会に占める女性比率は30%、EUで一番高い
- 賃金格差少ない:女性の賃金は男性の82%
- 勤務時間は9時から17時(週35-40時間)だが、多くの職場はフレックスタイム
- 夏休み・冬休み合わせて5週間,取得率100%
- 帰宅後・余暇は子どもと過ごすライフスタイル
- 仕事でも家庭でも男女の役割が決まっていない

1907年には世界初の女性国会議員 19人が誕生





政治への女性の進出

- 1906年: 男女ともに選挙権・被選挙権を同時に確立した最初の国
- 1907年: 世界初の女性国会議員19人(9,5%)が誕生
- しかし90年代までは男性優位だったが、大きく転換
- 2019年: 現在、全閣僚19人のうち12人が女性(63%)、女性国会議員は200人中94人(47%)(9位・日本は193か国中164位/IPU)
- 主要政党8党のうち5党が女性党首(3人は35歳以下!)
- 前大統領は女性・女性首相は2人(前女性首相は現在EU欧州委員会代表)
- 男女平等法では、自治体の委員会・議会等は男女ともに40%以上を確保する(国会議員は当てはまらない)